鹿児島県立鹿児島水産高等学校

学校関係者評価委員会（第１回）報告

１　日　時　　令和５年６月５日（月）15:00～16:00

２　場　所　　受付等：校長室，会議：視聴覚室

３　出席者
(1) 外部委員：野沢好則，山下貴史，茅野寿満子，永野慶一郎
(2) 校内委員：校長，教頭，事務長，長野，福留，兒玉，鈴木，山神，田畑，古田，
町頭，中山，上野，山下，溝端，川添

４　協　議
(1) 委員紹介，学校職員紹介
(2) 設置要綱，学校評価の流れの説明（教頭）
(3) 学校経営方針（校長）
(4) 学校の現状説明（長野・兒玉）
(4) 自己評価表の説明（各担当者）
(5) 意見交換（外部委員から）

（野沢委員）
今，それぞれがあげていただいた目的を１年間大変でしょうが頑張って欲しい。それと進路や生徒募集，安全などそれぞれ団結力がある。校長先生の経営方針にもある「和を以て貴しと為す」といことで，横の連絡を確実に行ってお互い共有して良い方向に行って欲しい。
「和を以て貴しと為す」は私も好きな言葉で，柔道で嘉納先生の言葉で「自他共栄」という似た言葉があり，切磋琢磨してお互い競い合って，良い方向に足の引っ張り合いじゃなく，ややもすれば，ナンバーワンを狙ってマウントをとりたがるが，オンリーワンでお互い支え合って一生懸命運営していただきたい。
水産高校に関係して長くなるが，最近，先生方もダレ気味じゃないかというところが見え隠れする。マンネリ化しているのかなと感じる。もうちょっと一生懸命頑張ってもらいたい。
先生達の頑張りが子供達の頑張りにも繋がると思う。先生達の頑張りで生徒達を奮い立たせて良い学校にして欲しいと思う。

（山下委員）
他の保護者からもよく聞くが，水産高校の第１の特色として，免許・資格がたくさん取れ，就職でかなり有利になるというのを，毎年いろんな保護者から聞く。
今，先生達の頑張りがという話があったが，個人的に感じているのは，もっとＰＴＡを頼って欲しい。このコロナ禍から感染対策が緩くなってきているので，この機会にＰＴＡと先生達とが連携を取りながら，できる限り自分達も協力させていただくので，みんなでこの水産高校を盛り上げていけたらと思う。

（茅野委員）
私は先生方の頑張りが顕著に表れているので，ほんとに心から敬意を表したいと思う。先ほど１年情報通信科の授業を見させていただいたが，授業を受ける生徒がマスクをしている生徒としていない生徒がいたが，それも生徒の自由なんだなと感じた。昨年は寮が足りないということで，私も個人的に病院など使えないのかと聞いたりしたが，今年は今のところ足りているのか。（寮の担当から状況の説明）
先日の「子ども食堂」にも寮生４名と上野先生がお手伝いに来てくれて，この場を借りてお礼を申し上げる。引き続きよろしくお願いしたい。

（永野委員）
校長先生の目標でありました，１学科40名，３学科120名満たすというのを聞いて，各担当の先生方も，定員の方をかなり意識して取り組まれていると強く感じた。昨年もこの場で申し上げたかもしれないが，水産高校というといろいろな街のイベントに，ボランティアで参加して頑張ってＰＲしてくれている。 コロナ禍でイベント自体がなくなったが，イベント等もコロナ以前の姿に戻って来るような様子である。また，そういったところで水産高校のみなさんにＰＲをしてもらって，校長先生の目標である定員を満たして欲しい。少子化で子供の取り合いとなってくるが，大変特色のある学校であるので，大いにＰＲに努めていただいたらと思う。